

熊建労5400人の力を合わせた

熊本地震救援ニュース

2016年5月30日(月)

第23号

発行 村上久義教宣部長
TEL096-283-7811

全京都建築組合の仲間が来熊 組合員訪問のボランティア活動に参加

1、被害状況 (該当支部)

5/30 9:00 現在

	菊鹿	阿蘇	東部	西部	宇城	八代	計
ケガ	0	0	7	6	10		23
家 全壊	2	1	70	13	6		92
半壊 瓦・一部	11	9	447	50	140	10	667
地盤沈下 液状化		1 (川沿い)					1
土石流避難		4					4

(1) 被災地の状況

- り災証明書は発行されたが、納得いかないがこれからを考え、再審査等出さないといった仲間がいる。
- 長い避難生活に具合が悪くなり、入院となった家族がいる。

(2) 被災した仲間の要望 (また地域住民からの引き続きの要望)

- り災証明の発行により、各種減免申請や当面の生活資金についての相談が連日ある。
- ブルーシートを使っていたが、破れてしまい再度取りに来る方が増えている。
- 水・レトルト食品等の要望強い。

2、支援活動

(1) 支援

- 大槌建成組合・釜石建設組合・東京都建設組合・首都圏建設産業ユニオン・静岡県建設労働組合から支援物資が届きました。
- 全京都建築労働組合の仲間が、ボランティア活動に参加

複数の企業からも支援が広がっています



先日紹介しました新潟県建設ユニオン青年部が、陸路熊本まで運んできたアスベスト飛散防止剤を新潟のジャパンイースト株式会社から、噴霧器を株式会社工進から提供を受けました。

また、地震ニュース第8号の紹介では、株式会社工進が新潟の会社となっておりますが、正確には本社が京都にある企業です。

訂正と共にお詫びいたします。